

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「やくび！！」

テーマ:「疫病神なのに、取り憑いた相手に幸せになってほしい美少女」

キャラクター

55

ストーリー

40

テーマ(設定)

55

文章力

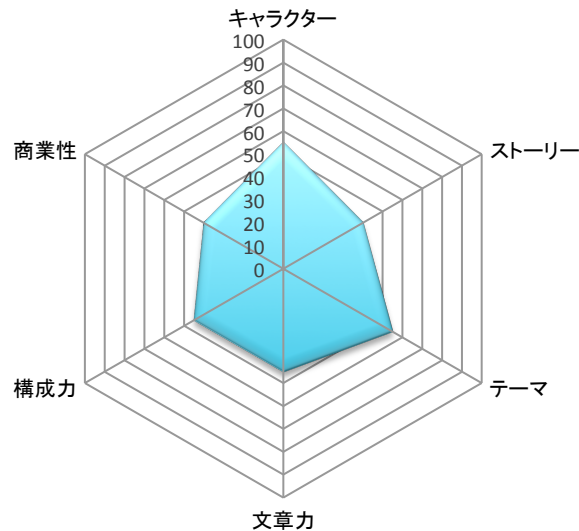
45

構成力

45

商業性

40



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- 物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- 物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・全体的に情報量がアンバランスであると感じる。なんとなく読んでいてだけでは、「よくわからないけれどカイナの周りででんやわんやしている」というざっくりとしたことしか分からない。良い意味でも悪い意味でも状況が書き込まれすぎていて、読んでいて何が何に注目してよいのか、結局何がしたい文章なのか分かりにくくなっていることが原因だと思われる。(超簡単な設定、たとえばスマイル君(黄色いやつ)の顔を描写するときに「黄色い顔のキャラクターで、表情はにっこり」と簡単に描写すればいいところを、「黒い正円のふちどりに囲まれた黄色い顔に、顔の下半分全体を半弧の形で覆う口が〜」みたいな、そこまで書く必要ある?のような感じ)。一方で、キャラクターの数はカイナと佐々木、十ヒロインと無駄がなく、ストーリーに対して多すぎず少なすぎずの非常によいバランスであったと感じる。

・貧乏神という設定自体は非常に面白い。特にそれが美少女であるという点は個人的にもすごく良かった。「取り付いた相手に幸せになってほしい」という設定を生かすために、佐々木が序盤間違えて誰かに刺されるくらいの不幸があっても良いような気はする。

合計加点ポイント 0

総得点: 280 / 600

B方式総合得点: 13067 点